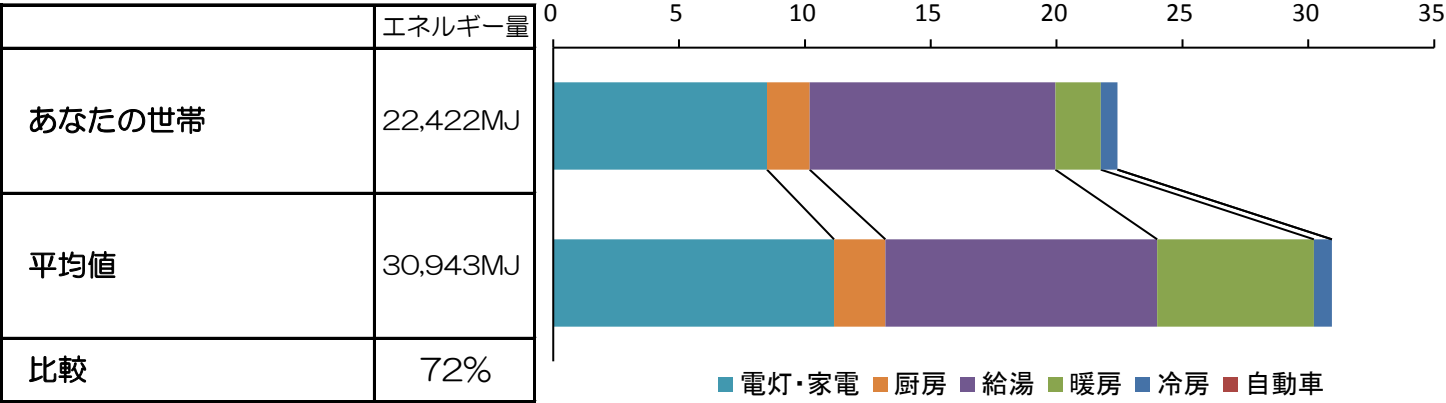


総合診断結果

あなたの世帯のエネルギー消費 ⇒ 平均※と比較して 72%

私の世帯の電気、ガス、灯油、ガソリンの使用量を、同様の気候条件にある同人数の世帯と比較いたしました。
結果は、平均と比較して、暖房エネルギーが非常に少ないようです。家電に関しては、寿命が来たら順次最新の機器に切換えていこうと思います。最優先は冷蔵庫だと考えております。給湯は平均のようですが、エコジョーズ

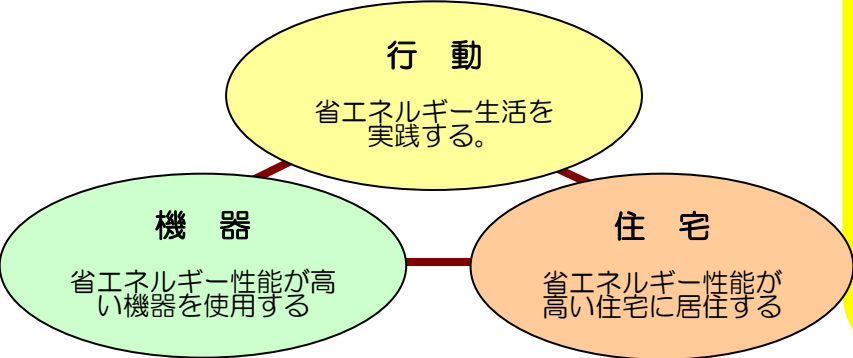
年間消費エネルギー比較



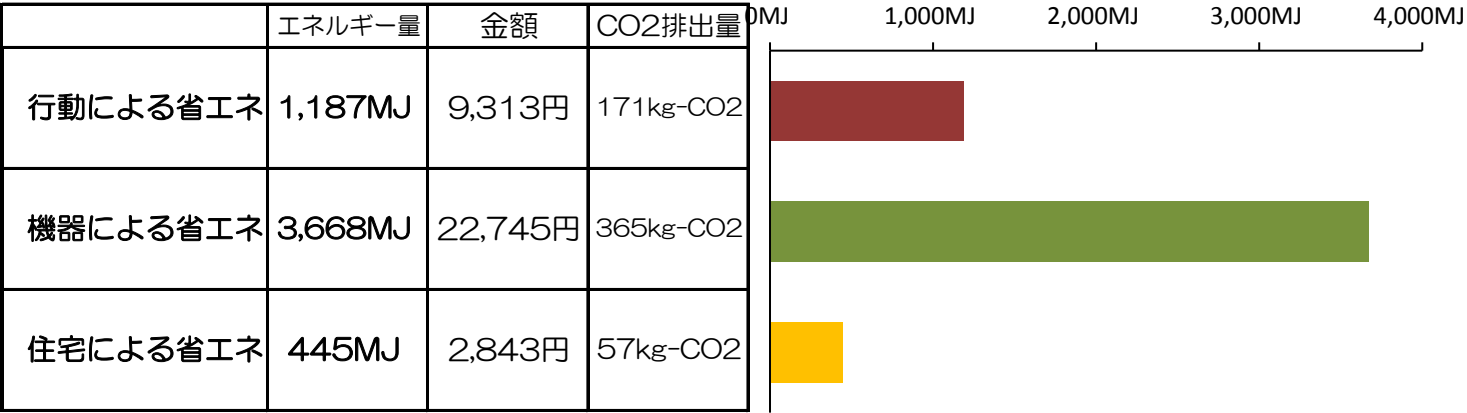
※ エネルギーの消費は、気候や住宅の形態(戸建・集合)、世帯人数などによって大きく異なります。
ここでは、お客さまと同じ気候区分、住宅形態、世帯人数の平均的な世帯を比較しました。

あなたの世帯の省エネのポイント ⇒ 機器による省エネ

家庭の省エネルギーの3要素



家庭の省エネにおいては、
①省エネを心がける行動（ライフスタイル）
②お使いの設備機器の省エネ性能
③住宅そのものの省エネ性能
の3つの要素のどれもが大切です。
例えば最新の省エネエアコンをお使いになっても、窓や壁の断熱性能が悪ければそれだけエネルギーを無駄に使ってしまいます。

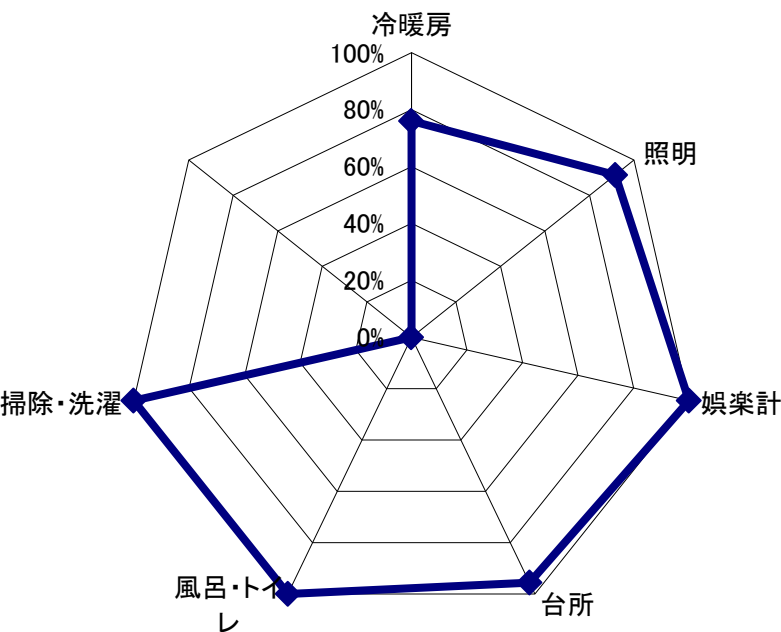


※ 当診断では住宅の省エネ性能について、窓の構造のみを診断対象としています。そのため、省エネ性能向上のためのご提案も窓の改修に限っており、その結果、住宅の省エネポテンシャルに対して提案の効果が少なくなっています。詳しくは「住まいの省エネ」のページの注をご参照ください。

行動・ライフスタイルによる省

行動・ライフスタイルの省エネ度は ⇒ **大きな成果があがっています**

日常生活の工夫により行うのが「行動・ライフスタイルによる省エネ」です。
費用をかけることなく、すぐにでも始めることができます。



私の家庭の日常生活における省エネ行動は、概ね実践できていることがわかりました。グラフ上では、冷暖房での省エネに改善の余地があるようですので、エアコンのフィルター清掃等に気を配ろうと思います。

また、照明器具につきましては、随時LEDへの切換えを行っていこうと考えております。

これまでは、漠然としか理解できていなかった行動を、数値で評価(見える化)することで、より具体的に実践行動に移せると思われ

こうすればさらに 省エネ⇒ **照明器具をLEDへ**

あなたがまだ取り組んでいない省エネ行動は、以下の項目です。

行動項目	省エネ行動	年間削減エネルギー量の目安	年間CO ₂ 排出削減量の目安	年間節約額の目安	行動のヒント
電子レンジ	野菜の下ごしらえに電子レンジを活用	955MJ	53.1kg	5,649円	煮崩れも少なくなります。
照明器具	点灯時間を短く。	607MJ	78.1kg	3,878円	照明のかさやカバーが汚れていると明るさが低下します。こまめな掃除を心がけて
照明器具	白熱電球をLED電球に取り替える。	271MJ	37.3kg	1,853円	購入の前に、お持ちの器具につけられるかサイズもチェックしましょう。

機器による省エネ

効率が向上した最新型の機器に買い替えることで、省エネを進めることができます。

家電製品等の省エネ性能は近年急速に向上しています。あなたが現在お使いの機器と、最新の省エネ型機器のエネルギー消費量等を比較してみました。私の場合は、冷蔵庫の買換えが省エネに有効だと思われる。エアコンは夏季の寝苦しい時に使用する程度ですので、もう少し使用しは主として20型で観ていますが、32型の方が省エネだとわかりましたので、今後32型を優先したいと思います。照明器具は、順次LEDに切り換えたいと考えております。

■エアコン

近年、エネルギー消費効率の良い製品がどんどん開発されています。次回の買い替えの際には、最新省エネ機器への更新をご検討ください。和室に一台しか使用しておりませんが、リビングに一台増設して、電気ストーブや電気カーペット

上段：現在お使いの機器

下段：最新の省エネ型機器

99	kWh
52	kWh

0 20 40 60 80 100 120



年間消費電力量

約 **47** kWh
省エネ！

2,280	円
1,190	円

0 500 1,000 1,500 2,000 2,500



年間電気代

約 **1,089** 円
おトク!!

46	kg
24	kg

0 20 40 60



年間CO₂排出量

約 **22** kg
削減!!

3	本
2	本

0 20



年間CO₂削減量

約 **2** 本分
の杉の木吸収量に相当!!

■冷蔵庫

最新機種に切り換えることで電気代を大きく減らすことができます。次の買換え時には、是非消費電力にも注目して機種選定をなさして下さい。余裕があれば、すぐにでも買い換えたいと考えております。家族が二人ですので1ランク小さ

590	kWh
180	kWh

0 100 200 300 400 500 600 700



年間消費電力量

約 **410** kWh
省エネ！

13,570	円
4,140	円

0 2,000 4,000 6,000 8,000 10,000 12,000 14,000 16,000



年間電気代

約 **9,430** 円
おトク!!

273	kg
83	kg

0 50 100 150 200 250 300

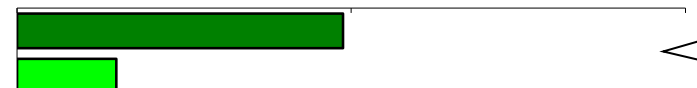


年間CO₂排出量

約 **190** kg
削減!!

20	本
6	本

0 20 40



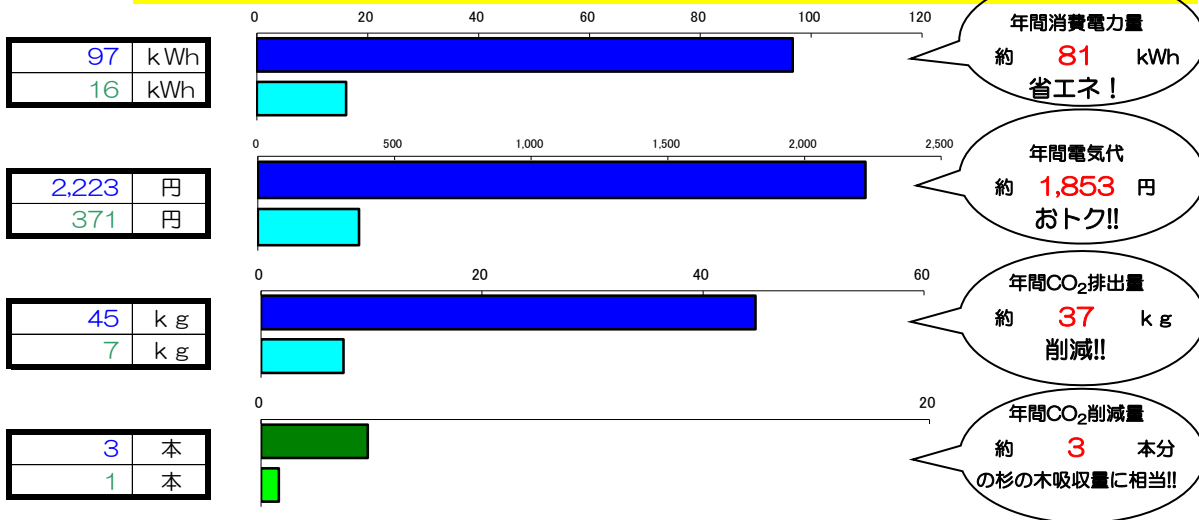
年間CO₂削減量

約 **14** 本分
の杉の木吸収量に相当!!

機器による省エネ

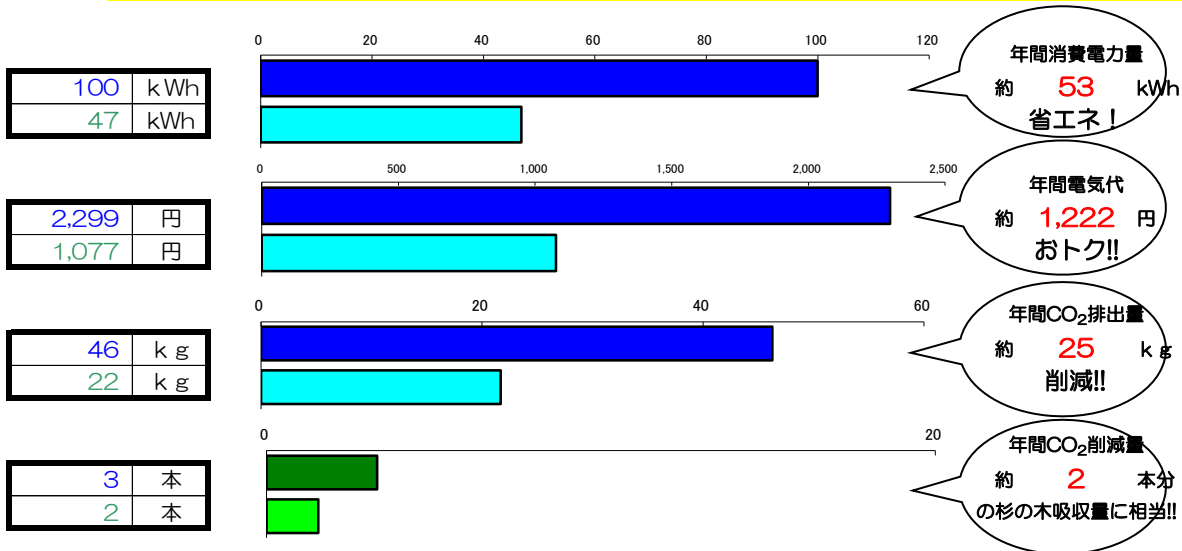
■照明器具

お住まいの照明には、一部、白熱電灯が使用されています。
白熱灯と同じ明るさで電気代が約1/6、寿命が40倍のLED電球があります。
交換すれば、大きな省エネルギーが図れます。
LEDのコストも手頃な価格になってきましたので、蛍光灯の寿命とともに買換えていこうと思います。



■テレビ

最新機種に切り換えることで電気代を大きく減らすことができます。
次の買換え時には、是非消費電力にも注目して機種選定をなさして下さい。
旧型の20インチの方が32インチよりも消費電力が大きいとは思っていませんでした。
最近のテレビの省エネ性能の高さに驚きました。

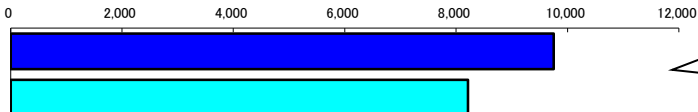


機器による省エネ

給湯機

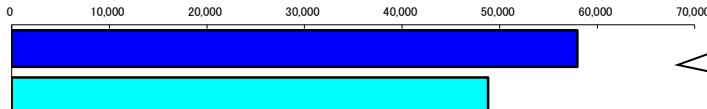
従来の機器よりエネルギー効率が大きく向上している高効率給湯器の普及が進んでいます。次の買換え時には、是非高効率タイプの選定をご検討ください。エコジョーズへの切換えを、オーナーに依頼してみようと思います。

9,754	MJ
8,214	MJ



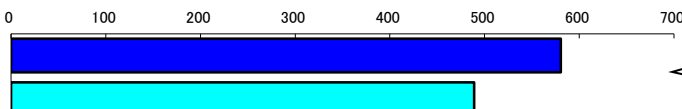
年間消費エネルギー量
約 1,540 MJ
省エネ！

57,960	円
48,809	円



年間費用
約 9,152 円
おトク!!

580	kg
489	kg



年間CO2排出量
約 92 kg
削減!!

41	本
35	本



年間CO2削減量
約 7 本分
の杉の木吸収量に相当!!

自動車

自動車の燃費も年々改善が進むとともに、ハイブリッド自動車のような次世代型の自動車も普及してきています。また、利用目的に応じて、必要以上に大きな自動車を使わないことも省エネにつながります。現在、自家用車は使用しておりませんが、これから購入する際には、ハイブリット車を購入したい

	L
	L



年間消費ガソリン量
約 3.1 L
省エネ！

	円
	円



年間ガソリン代
約 28.9 円
おトク!!

	kg
	kg



年間CO2排出量
約 3.1 kg
削減!!

	本
	本



年間CO2削減量
約 3.1 本分
の杉の木吸収量に相当!!

住宅による省エネ

あなたのお住まいの住宅の省エネ性能は ⇒ **等級 1 相当** です。

私の住まいは、賃貸アパートですので、勝手な改修はできませんが、住人としての要望は二重窓にしたいということです。個人的に窓に、断熱シートや遮熱シートを季節ごとに貼り替えております。また、北側の書斎には

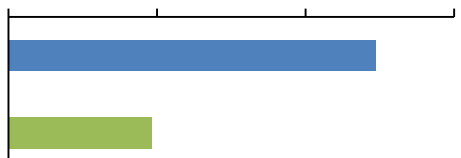
■「等級」について

ここで示す「等級」は、住宅の内外での熱の出入りのしにくさである「断熱性能」を示しているものです。
熱の出入りがしにくい住宅（断熱性能の高い住宅）ほど、冬は室内の熱が室外に逃げにくく、夏は室外の熱が室内に入りにくいいため、少ない暖冷房のエネルギーで快適に過ごすことができ、省エネルギーにつながります。
反対に、熱の出入りがしやすい住宅（断熱性能に低い住宅）ほど、快適に過ごすためには多くの暖冷房のエネルギーを必要とします。

省エネ性能が高い 室内外の熱の出入りが少な  室内外の熱の出入りが多 省エネ性能が低い	等級 4 相当	平成 11 年に定められ住宅の断熱性能等に関する基準に適合している断熱性能で、現在最も優れた水準です。
	等級 3 相当	平成 4 年に定められた基準に相当する断熱性能で、現在のところ一般的な水準です。
	等級 2 相当	昭和 55 年に定められた基準に相当する断熱性能で、現在では十分な水準とはいえません。
	等級 1 相当	等級 2 に及ばない性能で、断熱措置がないか、それに近い状況になっていると考えられます。

お住まいの省エネ性能を等級 4 相当とすることで、削減できる暖冷房エネルギーは **約 6 割** です。

■ 年間暖冷房エネルギー比較

	エネルギー量	金額	CO2排出量	
現状の暖冷房	2,473 MJ	15,797 円	318 kg-CO2	
等級 4 の場合の暖冷房	964 MJ	6,161 円	124 kg-CO2	
差	1,508 MJ	9,636 円	194 kg-CO2	

※ 住まいの省エネ性能の判定には、冷暖房時および冷暖房を停止した後の温度変化などを計測する必要があります。当診断では、お客さまへのヒアリングなどにより、簡易な判定を行っています。そのため、上記判定結果と実際のお住まいの断熱性能との間に差が生じる可能性がありますので、ご承知おきください。

省エネ性能の優れた住宅には、省エネに加えて大きなメリットがあります。

快適で健康

室内上下の温度差や、部屋毎の温度差が小さくなり、家中どこにいても快適に過ごすことができます。窓や壁に結露しにくいので、カビやダニの害も少なくなります。

長寿命

構造材を傷めて家の寿命を短くする壁体内結露も少なくなります。

住宅による省エネ

住宅の断熱性能を高めるには、窓など開口部の断熱性能が重要です。

住宅の断熱性能を左右する上で、大きな部分を占める窓について考えてみましょう。下の図のように、夏・冬とも窓から出入りする熱の割合が大変大きくなっています。そこで窓の断熱性を上げる工夫が重要になってきます

《夏の冷房時に外から熱が入る割合の例》

《冬の暖房時に外に熱が逃げる割合の例》

リフォームで窓の断熱性を高めるには、「内窓」を追加する方法が実施しやすく、高い効果が期待できます。

既存窓の室内側に樹脂内窓を追加取付
して「二重窓」にする。

あなたのお住まいの単板ガラスの窓すべてに内窓を設置することにより
約 **18%** 暖冷房エネルギーが少なくてすむようになります。

■ 年間暖冷房エネルギー比較

